

寄稿の依頼を受けたタイミングとほぼ同じ時期に、当社で革新性・独創性のある事業活動を通じて社会価値と経済価値を共創した取組みを表彰する「ASVアワード」という社内表彰にて、「グローバル・タックス・マネジメント」というテーマで賞を獲得した。受賞にあたっては、社内だけでなく社外各種ネットワークで得た知見もおおいに参考になったと考えている。今回は、当社の税務ガバナンス向上に向けたこれまでの取組みについて紹介をしたい。事業会社らしい「手触り感」が伝わると幸いである。

【会社概要】

- ・社名：味の素㈱
- ・所在地：東京都中央区京橋1丁目15-1
- ・会社設立年月日：1925年12月17日
- ・資本金：79,863百万円(2021年3月31日現在)
- ・主な事業内容：調味料、食品などの製造・販売、アミノサイエンス事業
- ・連結従業員数：33,461名(2021年3月31日現在)
- ・連結決算対象会社数：135社
- ・決算日：3月31日
- ・連結収益の金額：10,714億円(2020年度)

# 第1章 最も重要なグループポリシーの構成要素 グローバル・タックス・ポリシーの策定背景と概要

【この章のエッセンス】

- 欧米企業との合併事業を行うなかで、各業務の知見を集積、管理、反映する重要性を実感し、関連諸規程の整備につながった。
- グループミッション実現のため、グループポリシーの1つとしてグ

ローバル・タックス・ポリシーを制定した。

- グローバル・タックス・ポリシーでは、「守り」の姿勢と「攻め」の姿勢を示し、具体的な運用のためのプロセス・ジャヤーを定めるなど、タックス・マネジメント体系を構築している。

## 味の素㈱の財務経理組織

味の素㈱(以下、「当社」という)の財務経理部門の体制は図表1のとおりである。当社は、2020年4月から、国内グループ会社の財務経理

業務の集約・標準化とデジタルトランスフォーメーションの推進を目指し、味の素フィナンシャル・ソリューションズ(株)を設立した。

連結納税申告業務や税務ガバナンスの戦略立案は、グローバル財務部に残り、グループ会社の申告補助業務およびグローバル・タックス・マネジメントの維持運営は味の素フィナンシャル・ソリューションズ(株)に行っている。

税務業務については、2社で7名が従事している。会計事務所からの転身者や海外法人出向経験者など、メンバーの経歴は多彩である。

## グローバル・タックス・ポリシー策定の背景と目的

- (1) 複数のマルチナショナル・カンパニーとの合併事業の経験

当社はかつて、クラフトフーズ社、ユニリーバ社、ダノン社など世界的な規模の欧米企業と日本およびアジア地域を中心に合併事業を展開してきた。合併事業を行うなか、各社の方針を経営に反映させるわけだが、